

2 下水道事業会計

〔概要〕

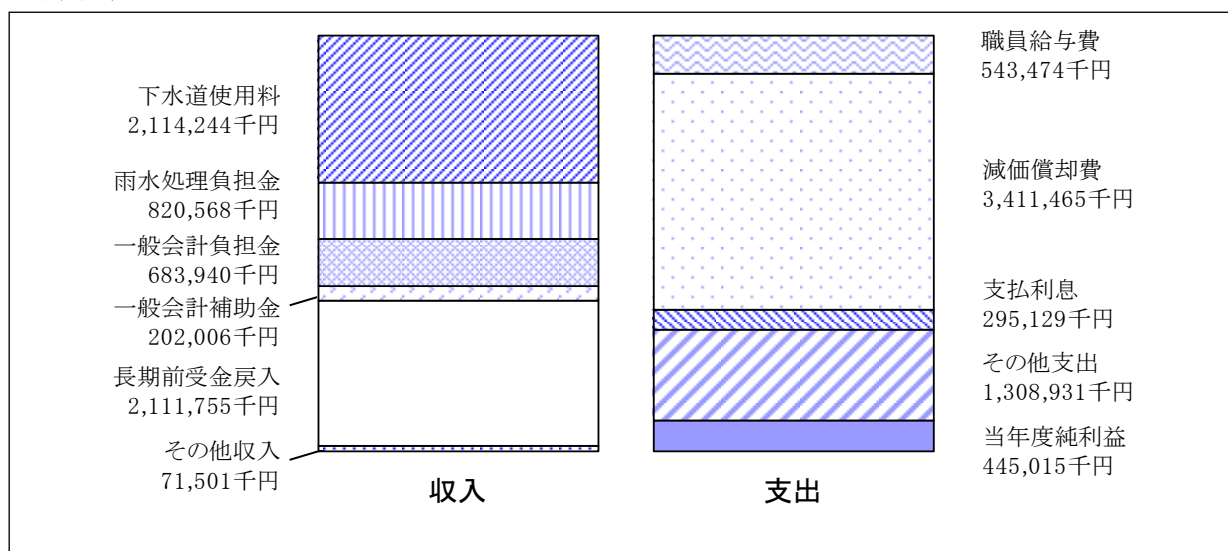
令和元年度の下水道事業の運営については、快適な生活環境の確保、公共用水域の水質保全及び雨水浸水被害の軽減を図るため、施設の維持管理及び計画的かつ効率的な施設整備等を実施しました。主な事業としては、西部浄化センター水処理施設工事、小串合流幹線(改築)工事、玉川ポンプ場建設工事、琴芝雨水準幹線工事、汚水の面整備等を実施しました。

汚水処理状況については、汚水整備戸数が14戸(前年度比34.1%)で、普及率は81.4%となり、年間総処理水量は19,614,036 m³(前年度比92.2%)で、有収水量は12,301,158 m³(前年度比99.8%)となりました。

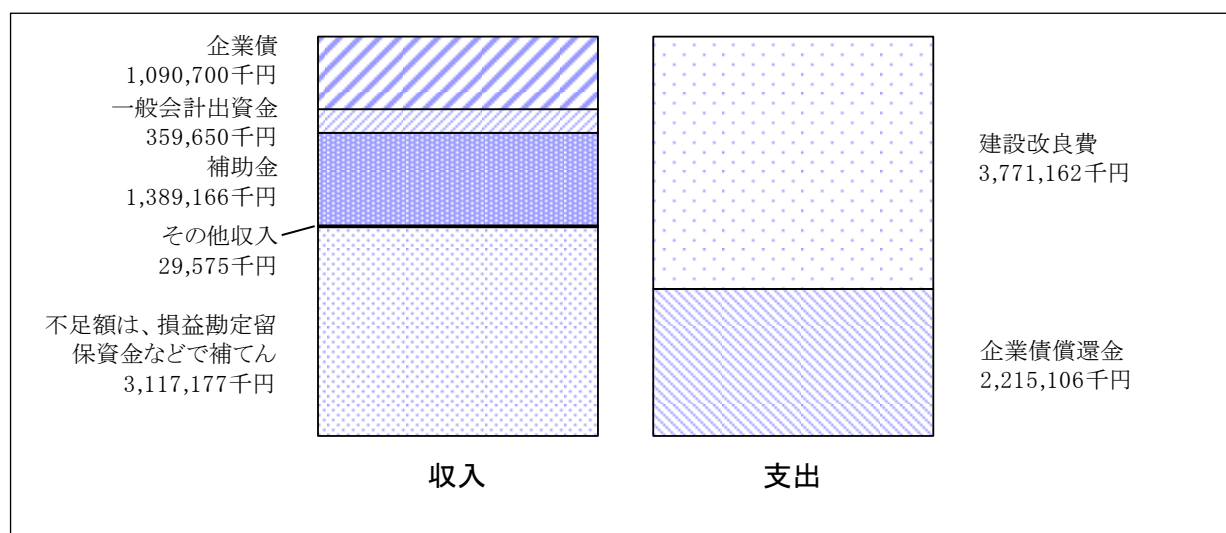
経営成績については、事業収益は6,004,014千円に、事業費用は5,558,999千円となり、収支差引の結果、当年度純利益は445,015千円に、また、当年度末処分利益剰余金は835,015千円となりました。

一方、資本的収支については、収入2,869,091千円(翌年度繰越工事財源1,204,007千円を除く)、支出5,986,268千円となり、差引不足額は3,117,177千円となりましたが、これは、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額119,692千円、繰越工事資金877,260千円、減債積立金200,000千円、建設改良積立金190,000千円、過年度分損益勘定留保資金77,156千円及び当年度分損益勘定留保資金1,653,069千円で補てんしました。

〔収益的収支〕



〔資本的収支〕



※資本的収入額は、翌年度繰越工事財源の額を控除した額